

「タイ サミティヴェート病院と医療を通じた連携協定を締結」

サミティヴェート病院と小児科・新生児科で連携



バンコク在タイ日本大使公邸において交わされた調印式で記念撮影

去る2月10日、バンコクの在タイ日本大使公邸において、高槻病院とサミティヴェート病院の間で交わされた覚書の調印式が行われました。サミティヴェート病院はタイ国内に在住する日本人小児患者を多数診療しており、新生児医療から発達相談、アレルギー疾患などの分野において、日本で施されている医療サービスと同等の内容を求める声が高まっているところでした。

覚書の趣旨は、小児医療における診療連携、人事交流、共同研究を目的としたものですが、非公式とはいえ、高槻病院がそのような目的に適う連携先であることを、先方の病院だけではなく、両国の省庁にも認められているという背景も重要ではないかと考えます。調印式には特命全権大使、一等書記官ら大使館関係者、サミティヴェート病院群のCEO、同小児病院長など医師、看護師、事務職員、報道関係者も含めて80名以上が参加して執り行われました。